

にぎやかに「中秋の名月を愛でる集い」開く

二回目を迎えた「中秋の名月を愛でる集い」を昨年十月三日、王陵の丘駐車場で開き、町内外から二百三十人の皆さんにお出掛けいただきました。

夜空に輝く中秋の名月を眺めながら、有志による大正琴や尺八と箏、フルートの演奏、抹茶の接待などで、秋の夜のひとときを楽しんでいただきました。



▲荒島交流センター「童謡の会」の皆さんの合唱



430人参加し、盛大に開催

第八回古代出雲王陵の丘健康ウォーク

八回目を迎えた古代出雲王陵の丘健康ウォークは昨年十月二十五日(日)、地元をはじめ出雲・松江両市や東出雲町、鳥取県からも米子市や南部町などから四百三十人の皆さんに参加していただき、盛大に開催できました。

農道工事のため二部コース変更したAコース(7km・中海海岸・造山山頂)、Bコース(3.6km・日白神社・造山山頂)、Cコース(3km・日白神社往復)に分かれ、午前九時三十分には古代出雲王陵の丘駐車場を出発。青空の下で心地よい汗を流して完歩した後、おにぎり・豚汁を食べ、さらに大抽選会や日曜日などを楽しんでいただきました。

今年は、地域間交流を続けている福井県福井市藤島町の東藤島まちづくり推進協議会員二十三人もウォークに参加されました。

また、前日午後には交流センターで両地区の交流会も開催し、地域づくりの現状と課題などを話し合いました。

広がる「連携の輪」交流センターの二教室が、大会運営に協力

今回の健康ウォークには、荒島交流センターで学びみさんにも協力していただきました。

日曜市のポスターを制作したのは、パソコンクラブ(藤井勝子代表、二十一人)の皆さん。個性あふれる力作ぞろいのお陰で日曜市は大盛況となり、総売り上げも五千九百十円を記録しました。

大会の様様を撮影したのは、デジカメ同好会(池田照代表、十三人)の皆さん。約三百枚を十一月七〜八日に開かれた交流センター「ふるさと祭り」会場に展示。希望者にも頒布し、喜ばれました。

皆さん、お世話になりました。回を重ねるごとに、こうした「連携の輪」が広がっていくといいですね。



▲日曜市のポスター展